



品定めをしながらいき抜いていく参加者

碓石ふるさと祭り 新和

相撲や大根の詰め放題などで大にぎわい

11月28日、「第33回碓石ふるさと祭り」が碓石公民館一帯で開かれ、約500人が参加しました。催しでは、相撲場で保育園児や小学生50人による子ども相撲が行われたほか、青年団員などが奉納相撲を披露し、観客からは大きな声援が送られていました。また、手作りの化粧まわしを付けた4人の「赤ちゃんの土俵入り」では、かわいい「力士」の姿に微笑む多くの人たちもいて、相撲大会に華を添えました。

そして、碓石地区振興会が生産している、土着菌を使用した堆肥で育てた野菜の収穫祭では、一袋100円の「大根の詰め放題」に多くの来場者が参加し、大いににぎわっていました。

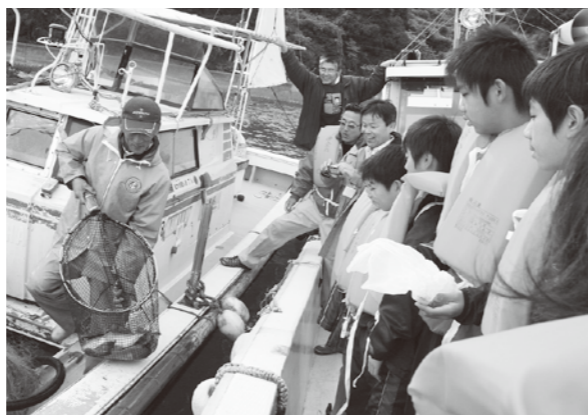


赤ちゃんの土俵入りのようす

御所浦小学校「ごしょんな海まつり」 御所浦

地元の“海”を深く知ろう!!

12月8日、御所浦小学校で「ごしょんな海まつり」が開かれ、同校の児童など170人が参加しました。これは、天草地区漁業士会と同校が、海に関する学習を通して、地域のよさを見直し漁村の活性化につなげることを目的に、初めて実施したものです。この日児童たちは、漁業の現場や漁業取締船「あまくさ」を見学したほか、漁師などの指導のもと魚料理を体験。ふだんはよく目にしながらも、あまり深くは知らない御所浦の海のすばらしさを再認識していました。



とれたての魚を見る児童たち



▲1個130円。贈答用の5個入り(680円)、ひまわりポテトとの詰め合わせ(10個入り1,470円)も販売。

「万次郎かぼちゃパイ」販売中 柗本

柗本オリジナル商品の第9弾が登場!

柗本まちづくり協議会では、昨年12月8日から、柗本オリジナル商品の第9弾となる「万次郎かぼちゃパイ」を、3月31日までの期間限定で販売しています。これは同協議会が、地元で生産されている“万次郎かぼちゃ”を有効活用しようと企画したものです。風味豊かで上品な甘さに仕上げたかぼちゃのあんを、パイ生地で包んだお菓子です。現在、柗本温泉センターなどで販売中。詳細は、同協議会事務局(柗本支所・総務振興課内)☎0963-3111へお尋ねください。

牛深あかね市 牛深

冬の一大イベントに多くの人出!

12月4日・5日、牛深ハイヤ大橋横の芝生広場一帯で「第21回牛深あかね市」が開催されました。同市は、牛深の自然の恵みである農水産物を多くの人にPRしようと、毎年開かれているもの。今回は2日間とも天候に恵まれ、呼び物のひとつ「タイ釣り大会」では、小学生以下の子どもたちを対象にした“ちびっこ釣り堀”を初めて実施。参加した約100人の中には、初めて釣りを体験する子どももいて、「もっと釣りたい」「思ったより重たかった」などと目を輝かせながらタイ釣りを楽しんでいました。

このほか、新鮮な魚介類や農産物の販売、牛深ハイヤ保存会や地元の中高生による牛深ハイヤ踊りの披露もあり、約27,000人の来場者でにぎわいました。



▲“ちびっこ釣り堀”で大物のタイを釣る子ども



▲にぎわいを見せた農水産物の販売コーナー



▲真心のこもったプレゼントを手に喜びの参加者

下津浦いきいきサロン 有明

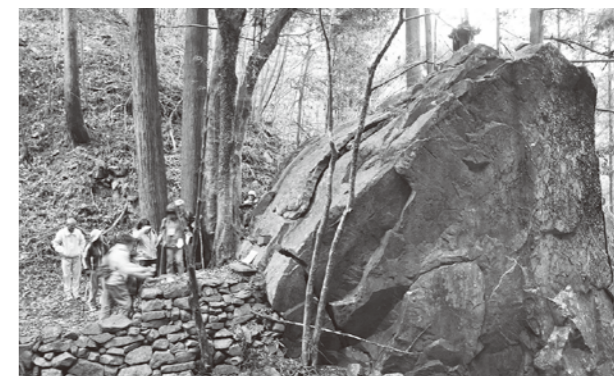
ひと足早いクリスマスプレゼント!

下津浦公民館・迫分館で、毎週編み物やリサイクルなどの自主教室を行う農協女性部の『なんでもグループ』が11月24日、下津浦いきいきサロンの参加者15人に手づくりのお菓子やバッグなどを贈りました。これは、同グループがサロンの参加者を元気づけようと実施したものです。贈り物を受け取った参加者は、「ひと足早いクリスマスがやってきた」と大喜びする中、同グループ代表の今福京さんは、「喜んでもらえて活動の励みになります。これからも仲良く元気に過ごしてほしいです」と話していました。

矢筈岳さわやか登山 本渡

さわやかな冬の登山を満喫!

12月12日、本町にそびえる矢筈岳の山頂を目指す「矢筈岳さわやか登山」が開かれ、160人が参加しました。これは、本町地区振興会が毎年開催しているもの。コースは、平床農村公園から同岳山頂を往復する約10kmで、参加者は険しい道なりに悪戦苦闘しながらも、頂上に到着後は眼下に広がる絶景を堪能していました。このほか、春日大明神をまつた巨石“百貫様”などにチェックポイントを設けたスタンプリー、ぜんざい、豚汁などの食事もふるまわれ、参加者は冬の登山を満喫していました。



▲“百貫様”を通過する参加者